

学生論文コンテスト 2チームが特別賞

商学部

日中関係学会主催の学生論文コンテスト「第5回宮本賞」で、商学部の高久保ゼミの2チームがそれぞれ特別賞を受賞した。3月17日に表彰式と発表会が開催される。

受賞したのは「ハイアールのネット化戦略を読み解く」をテーマにした渡邊進太郎さん、岡野正吾さん、河合紗莉亜さん、橋本清汰さん、山口掌さんの5人。もう一つは「アリババが生む中国的ビジネスイノベーション」と題した小泉裕梨絵さん、原田朋子さん、池

田真也さん、伊東耕さん、仲井真優豪さんと中国人留学生である林智英さんの日中混成チーム。

同ゼミの共同研究チームによる宮本賞受賞は3年連続。その秘けつを高

久保豊教授は「大学院生を含めてゼミ生の4割が外国人。多様な民族の学生たちが共同研究・調査することで、新しい視点や着想が生まれるのは」と話している。

日本大学広報 第706号
(2017年2月15日)